

高齢者の耳の聞こえ



年齢を重ねると聴力は衰え、70歳代前半では約半数の方に軽度難聴※以上の難聴があると言われています。加齢に伴う聴力の低下は、ゆっくりと進行するため、自分では気づかずに、家族や友人等に指摘されて初めて気づくということもあります。

また、難聴は、認知機能に影響をもたらす可能性もあると言われており、早い段階で聞こえづらさを発見し、聞こえの改善を図ることが大切です。

※軽度難聴とは小さな声や騒音下での会話では、聞き間違いや聞き取りづらさがある状況。

ご自身の聞こえの状態をチェックしてみましょう

1つでも当てはまる方、ご自身の「聞こえ」が気になる方は、耳鼻咽喉科医師（補聴器相談医）への相談をおすすめします。

お近くに耳鼻咽喉科又は補聴器相談医がいない場合は、内科等のかかりつけ医や言語聴覚士会にご相談ください。

- ☐ 会話をしているとき、聞き返すことがよくある。
- ☐ 相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがある。
- ☐ 電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがある。
- ☐ 家族に、「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われる。
- ☐ 大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聴きづらいと感じる。

「聞こえづらさ」が進むと 生活する上で次のような支障が起きる可能性があります。



必要な音が聞こえず、
危険を察知する能力が
低下する



家族や友人との
コミュニケーションが
うまくいなくなる

裏面をご覧ください

補聴器について

補聴器を適切に使用することで、聞こえづらさが改善し、生活の質が向上する可能性があります。

豊かな人生を過ごすために、補聴器の使用を勧められたら早めに検討しましょう。

【補聴器を購入する時の注意点】

- 補聴器の購入前に耳鼻咽喉科（補聴器相談医）に相談しましょう。
- 補聴器は管理医療機器です。購入時の調整（フィッティング）、購入後のアフターケア、定期点検が大事です。
- 補聴器の購入は、専門知識・技術を持つ販売店で相談することをお勧めします。
- 医療機関の受診や補聴器の購入時には、耳の聞こえにくさによる支障が生じないように、家族などと一緒にいけることをお勧めします。

詳細は島根県のHPを
ご覧ください



http://www.pref.shimane.lg.jp/medical/fukushi/kourei/kourei_sien/hotyouki.html

あなたも「聴こえ8030運動」に参加しませんか？

「聴こえ8030運動」とは

80歳で30dBの聴力（または補聴器をした状態で30dBの聴力）を保つ国民啓発活動です。80歳で30dBの聴力を保つことができれば、高齢でも会話や音楽を楽しめ、豊かなシニアライフを過ごすことができます。

※30dBはささやき声が聞こえるくらいです。

詳細はこちらへ >>>>>

一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

<https://kikoe8030.jibika.or.jp/whatis8030>



発行

島根県健康福祉部高齢者福祉課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL:0852-22-6341

FAX:0852-22-5238

